

2025年
vol.95

金沢脳神経外科病院通信

クローバー

金沢脳神経外科病院に入職して4カ月 —仕事も遊びも新鮮—

金沢脳神経外科病院に入職して、はや4カ月が過ぎました。1986年、当院に勤務していましたが、その後は、富山大学、金沢医科大学、また、富山大学と、大学勤務が長かったため、新鮮に感じることが多々あります。

まずは大切な「遊び」の時間について。大学時代は長時間の“自己研鑽”のため、帰宅が遅く、人生の半分以上の時間を大学で過ごしていました。しかし、現在は明るいうちに帰宅できるようになり、念願のジム通いを始めました。当院は大手ジムと契約しており、法人会員として利用できます。そのおかげで筋肉量が増え、姿勢がよくなった気がします。次に、仕事帰りにパラグライダースクールにも通うことができるようになりました。平日はさすがに無理ですが、土曜日は外来後に山に向かえます。都会では想像できないことです。当院はパラグライダーエリアから30分以内という恵まれた立地にあります。もちろん落ちないように注意しています。先週末には、10年ぶりに白山に登りました。登山者の多さに驚かされました。ただ、登るつもりでしたが、急遽、予定を変更して白山診療所を手伝うことになり、室堂で数名の患者さんの相談に応じました。そのご縁で、野々市市のある地域の登山倶楽部の方々と知り合うこともできました。「病院で会うことのないよう、健康でいましょう」と挨拶して下山しました。これも地元密着型の病院ならではの経験です。

これを読んだ先輩、後輩、悪友から、「遊んでばかり」という、お叱りを受けそうなので、次は病院勤務について触れます。当院で感じるのは、患者さんとの距離感が近いことです。大学病院では紹介

患者さんの手術を行い、病状が安定すれば地元の病院に転院していただいています。今は、その「**地元病院**」勤務です。患者さんが自宅に戻れるのか？ それに必要なものは何か？ 行政のサポートは？ 自宅にもどれない場合はどうするのか？

など、患者さん・ご家族の生活に直結する課題に日々向き合っています。そのためには看護師、リハビリスタッフ、ソーシャルワーカー、医師の連携が不可欠です。当院では多職種カンファランスがほぼ毎日開かれ、患者さんの情報や今後の方向性を共有し、必要なことを検討しています。薬剤部、栄養部、事務部もとても協力的で、一緒に最善の方法を考えてくれます。当院は職員数約400名弱ですが、この4カ月でほとんどの職員のマスク越しの顔を覚えることができました（マスクを外すと誰だかわからないことも多いですが）。このサイズの病院だからか、スタッフのキャラクターがなせることなのか、おそらく両者だと思いますが、意思疎通が容易で、「**みんなで治療している**」という感覚があります。

着任と同時に白山ののいち医師会に加えていただきました。金沢医科大学勤務時代に、一緒に手術、治療をさせていただいていた先輩に久しぶりお会いでき、心強く感じました。また、当時の医学生が、卒業して医師になり、立派に施設を運営されている姿をみると、月日のながれを実感します。自分はあまり変わっていないような錯覚をもっていますが、



副院長
赤井 卓也

金沢脳神経外科病院に入職して4カ月 —仕事も遊びも新鮮—

それは大きな勘違いだと思い知らされます。医師会の集まりでは、学生時代にお世話になった先生に声をかけていただいたのに、先輩と気づかず失礼してしまいました。

世の中は急速に進化しています。電話は個人の必需品となり、インターネットで世界とつながり、手元のコンピューターやスマホで何でも調べられる時代になりました。記録をとるかわりに携帯でカシャ、コロナ禍以降、会議はWeb開催が主流となり、テレビ離れが進み、わからないことはまずChatGPTに尋ねるようになりました。患者さんも自分の病気について容易に調べられます。怪しい情報もあふれていますが、病気の詳細、推奨治療、担当医の専門領域など、多くを知ることができます。医療法は、時々、改正されます。医療機関は患者さんのニーズに答えるため、ChatGPTに負けない正確な情報を収集・提供し、

実践していかななくてはなりません。経験値は大切ですが、以前と同じことを繰り返しているだけでは取り残されているという危機感を持ち、その時代のニーズに応えられる「成長する病院」でありたいと願っています。もちろん、仕事以外の遊びの感性も忘れずに。



白山頂上からのぞむご来光(北アルプス薬師岳から昇っています)

看護師インタビュー

今年度入職の看護師4名に、
入職後のリアルな思いを
伺ってみました!

- Q1 実際に働いてみて職場の雰囲気はどうですか?
- Q2 一番やりがいを感じた瞬間は?
- Q3 「こんな先輩がいて助かった!」というエピソードは??
- Q4 今後、どんなことを身につけていきたいですか?



浦田 望叶さん

所 属 手術室・中材
看護経験 1年目
出身地 石川県

私のリフレッシュ法
美味しいものを
食べる

- Q1 初めてのことがたくさんの場所で最初は中々なれなかったのですが、先輩方が分かりやすく丁寧に教えてくださるので安心して働いています。
- Q2 初めて外回りを担当したときに、患者さんが「話を聞いてくれてありがとう、すっきりしたわ」と言ってくれたことに対して、自分が傾聴したことで患者さんが不安を少しでも軽減できたのだと感じて嬉しかったです。
- Q3 先輩方が「分からんことあったら、いつでも聞いて」と言っておかげで、気軽に質問・相談ができています。
- Q4 手術室での専門的な知識と技術を身につけていき、手術を受ける患者さんがここで手術をして良かったと思えるような看護を提供していきたいです。



東谷 百恵さん

所 属 4 病棟
看護経験 3 年目
出 身 地 石川県

私のリフレッシュ法

旅行、編み物、
押し活

Q1 メンバーで声を掛け合いながら業務をしており、明るく活気があるように感じます。

Q2 退院していく患者さんの姿をみたとき、ADL 回復していく姿を見たとき。

Q3 業務が多重課題になり何から手をつけていいか分からなくなったとき、先輩が何か手伝うことある?とか分からなかったら言ってねと声をかけてくださり、とても安心しました。

Q4 専門的な知識とそれを踏まえた技術もそうですし、患者さんの退院を見据えた看護計画、ケアができるようになります。



山岸 胡々さん

所 属 3 病棟
看護経験 1 年目
出 身 地 石川県

私のリフレッシュ法

岩盤浴やピラティスに行き、
身体をほぐすこと。

Q1 皆さん優しく接してくださり、新人でも馴染みやすい雰囲気だと感じています。看護師や看護補助者のスタッフだけではなく、医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などの方々との連携が多い病棟で緊張もありましたが、本当に皆さん優しい方ばかりで安心して働いています。

Q2 基本的看護技術を患者さんにスムーズに行うことができ不快感や、苦痛を最小限にすることができたとき看護師としてのやりがいを感じました。

Q3 業務の優先順位の付け方がわからず困っている様子に気づいてくださり、声を掛けてくださった先輩や、業務を手伝ってくださる先輩などたくさんの方々に支えられています。

Q4 個性性を重視し、寄り添った看護が行えるように知識や技術を深め、身につけて行きたいと考えています。



米田 円さん

所 属 5 病棟
看護経験 1 年目
出 身 地 石川県

私のリフレッシュ法

旅行

Q1 相談などがしやすく明るい雰囲気だと感じます。

Q2 回復期リハビリテーション病棟の特徴であり、患者さんのADL向上が見られるところにやりがいを感じます。

Q3 わからないことがあり質問したらすぐに相談に乗ってくださったり、夜勤中スムーズに行えるようにサポートしてくださったときに助かりました。

Q4 看護技術を身につけ、患者さん一人一人にあった看護を提供していきたいです。

連携登録医のご紹介

医療連携とは

地域の医療機関と金沢脳神経外科病院の相互連携を一層緊密にし、適切で切れ目のない医療の連携を目指し開始された「連携登録医制度」に登録していただいている医療機関の先生方です。

今回は、能美市寺井町の「徳久医院」をご紹介します。

当院は1911年(明治44年)に現在の能美市寺井町に私の曾祖父が開業しました。2025年4月から、私が4代目として継承させていただきましたので、今後ともよろしくお願いします。

私自身は金沢大学循環器内科および関連病院で循環器内科・不整脈治療(カテーテルアブレーションなど)を中心に診療をしてきました。今回実家の医院を継承して感じているのが、脳血管障害や認知症患者様がとても多いということです。

地域のかかりつけ医として、まずは生活習慣病の管理を十分に行い疾患の予防をすることが大切だと考えています。さらに頸動脈エコーで頸動脈狭窄症のスクリーニングをしたり、認知症診療に積極的に関わったりして、脳神経外科領域の疾患に適切な対応ができるようにしたいと思います。

また不整脈医として、無症候性発作性心房細動をいち早く発見し、重篤な転帰となることが多い心原性脳塞栓症の発症を少しでも減らすことが使命だと思っています。隠れ心房細動リスク推定機能をもった12誘導心電図や長時間ホルター心電図(院内解析)などを使って積極的にスクリーニングをしております。

金沢脳神経外科病院とは今後も強く連携させていただき、患者様に最善の医療を提供したいと考えております。



院長
徳久 英樹 先生

【保有資格】医学博士

日本内科学会認定内科医、総合内科専門医
日本循環器学会認定 循環器専門医
日本不整脈心電学会認定 不整脈専門医
認知症サポート医

【略 歴】

平成20年 金沢大学医学部 卒業
平成22年 金沢大学第一内科
(循環器グループ)入局

平成30年 金沢大学大学院 終了
令和7年4月 徳久医院 院長就任

金沢大学附属病院、富山県立中央病院、金沢医療センター、金沢市立病院などで勤務歴あり

【診療科】内科・循環器内科・不整脈科

【住 所】能美市寺井町ウ31番地

【電 話】0761-57-0062

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土	日
9:00-12:00	○	○	○	○	○	○	
14:00-18:00	○	○		○	○		

休診日：水曜午後 土曜午後 日曜日 祝日

取材スタッフより

あたたかな笑顔で包み込んでくれる、やさしい先生でした😊



病院
理念

私たちは脳神経外科医療の専門家として十分な医療を提供し社会に貢献します。



医療法人社団 浅ノ川
金沢脳神経外科病院

石川県野々市市郷町262-2

TEL:076-246-5600 FAX:076-246-3914

<https://www.nouge.net>

金沢脳神経外科病院 広報誌 第95号 発行:広報委員会
2025年8月29日発行